

ヤングアダルト通信

VOL.133号 (2016.1)

(発行: 碧南市民図書館 0566-41-0894)

日本の

名作 を読む

今年もヨロシク
にゃご



新年あけましておめでとうございます。

2016年最初のヤングアダルト通信は、日本文学史上にのこる「名作」を特集。「堅苦しい」「古くさい」と敬遠するなかれ。時代を超えて読みつがれるのにはワケがあります！いまの若いみなさんが読んでも十分おもしろい、そのうえ受験に役立つかも？

教科書に名作



Y910キ

『教科書の文学を読みなおす』

島内 景二／著 筑摩書房

恋も、冒険も、失敗も！

時代や言葉は変わっても、人の心の根っこは同じ。はたせぬ恋に胸こがし、「幸せって何？」と身悶える。

古事記から漱石まで、明日から国語の教科書が何倍も面白くなる！

明治の文学

『吾輩は猫である』

夏目 漱石／著 新潮社

「吾輩は猫である。名前はまだ無い。」

明治の文豪・夏目漱石の処女作にして代表作で、その冒頭はあまりに有名。

英語教師・苦沙弥先生の飼い猫「吾輩」を語り手に展開される痛烈な社会批判は、いまなお読者の心に爽快な共感を呼ぶ！

BF ナ(一般)

『たけくらべ』

樋口 一葉／文 岩崎 ちひろ／画 童心社

明治文壇の才媛・樋口一葉の代表作。

遊郭に住む少女と僧侶になる定めのある少年。思春期の男女の淡い想いがぎこちなく交錯する恋模様を描いた名作に、岩崎ちひろの美しい挿絵が色を添えます。

YF ヒ



大正・昭和の文学



『こゝろ』

夏目 漱石／著 角川書店

漱石の後期三部作『彼岸過迄』『行人』に続く最終作。恋人を得るために親友を裏切り、自殺へと追いこんだ「先生」。その過去の罪悪感に苦しみ、自らもまた死を選ぶ。愛と偽善、誠実の意味を追究した傑作。

YBF ナ

『羅生門・鼻・芋粥・偷盗』

芥川 龍之介／著 岩波書店

小説家の登龍門「芥川賞」にその名をとどめる芥川龍之介の、初期の短編集。王朝末期の荒廃した都を舞台に展開する凄惨な人間絵巻『羅生門』をはじめ、いずれも『今昔物語』などを題材にした「芥川王朝物」。

BF ア(一般)

『銀河鉄道の夜』

宮沢 賢治／原作 ますむら ひろし/作画 偕成社

世代を超えて愛される、童話作家であり詩人・宮沢賢治の代表作を、擬人化された猫のキャラクターで知られるますむらひろしが劇画化。幻想となぞに満ち、難解といわれる宮沢賢治童話の世界観を、見事に再現しています。

Y726 ギ

『斜陽』

太宰 治／著 岩波書店

昭和22年に発表され、「斜陽族」という流行語を生んだ、太宰文学の代表作。戦後日本の、没落していく貴族が題材。「真の革命のためにはもっと美しい滅亡が必要なのだ」という悲壮な心情を、主要人物四人の滅びの姿に重ねている。同時期の短編『おさん』も収録。

BF ダ(一般)

YF イ

『生きるって、カッコワルイこと?』

芥川 龍之介／ほか作 くもん出版

芥川龍之介『蜜柑』、有島武郎『一房の葡萄』、宮沢賢治『猫の事務所』、新美南吉『牛をつないだ樁の木』、菊池寛『形』、横光利一『蠅』、梶井基次郎『檸檬』、森鷗外『高瀬舟』。日本文学の名作から「生きる」とはどんなことかを考えさせる短編8作を厳選。いま読んでも魂がふるえる！



古典もおもしろい！

『半日で読む源氏物語』

吉野 敬介／著 世界文化社

千年前の恋を読む！知らなくても生きていけるが、知れば知るほどおもしろい。平安王朝文学の最高傑作『源氏物語』54帖、史上最強の現代語訳。

Y913 ハ

『南総里見八犬伝 1-4』

滝沢 馬琴／原作 浜 たかや／編著 山本 タカト／画 偕成社

江戸時代のファンタジー作家・滝沢馬琴が奏でる冒険活劇。運命の糸で結ばれた八人の「犬士」たちが、妖婦玉梓の呪いを打ちくだく！

Y913 ナ



担当者より



⑨が高校生のとき、古文の時間に先生から「『源氏物語』は入試でよく出題されるから、漫画『あさきゆめみし』を読むように」とすすめられました。

素直にしたがったら、とある大学の入試で「明石」のワンシーンが出て、あらすじを知っていたがため、ほぼ完ぺきに解けました(たぶん)。『源氏物語』の漫画版『あさきゆめみし』、図書館にもあります、受験生はぜひ読んでみてください！役に立つうえおもしろい！おすすめですよ！

⑨